

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	11,056,140	7,587,638	3,468,502
前払金	0	3,058,433	-3,058,433
前払費用	177,254	158,721	18,533
流動資産合計	11,233,394	10,804,792	428,602
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	1,497,577	-1,497,577
投資有価証券	977,705,946	920,628,276	57,077,670
基本財産合計	977,705,946	922,125,853	55,580,093
(2) 特定資産			
助成事業運営資産	95,736,901	100,803,104	-5,066,203
特定資産合計	95,736,901	100,803,104	-5,066,203
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	242,457	0	242,457
投資有価証券	0	10,292,000	-10,292,000
その他固定資産合計	242,457	10,292,000	-10,049,543
固定資産合計	1,073,685,304	1,033,220,957	40,464,347
資産合計	1,084,918,698	1,044,025,749	40,892,949
<b>II 負債の部</b>			
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	938,397,366	889,691,720	48,705,646
指定正味財産合計	938,397,366	889,691,720	48,705,646
(うち基本財産への充当額)	(938,397,366)	(889,691,720)	(48,705,646)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(39,308,580)	(32,434,133)	(6,874,447)
(うち特定資産への充当額)	(95,736,901)	(100,803,104)	(-5,066,203)
正味財産合計	1,084,918,698	1,044,025,749	40,892,949
負債及び正味財産合計	1,084,918,698	1,044,025,749	40,892,949

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 公益法人会計基準の適用

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 改正平成21年10月16日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (2) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ① 満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっている。

##### ② 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

時価法により評価している。

(a) 市場価格のある国債、社債は、証券会社から入手した期末日の市場取引価格に基づく価格(外貨建ての場合は決算日の為替で評価した価格)を時価として採用している。

(b) 市場価格のない仕組債は、合理的に算定された価格として証券会社の参考価格を時価として採用している。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェアについて、5年を償却期間とした定額法を採用している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (5) 外貨建の資産の本邦通貨への換算方法

外貨建て資産は決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は流動資産については為替差損益に、固定資産については投資有価証券評価損益に計上している。

### 3. 会計方針の変更

変更なし。

### 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,497,577	9,602	1,507,179	0
投資有価証券	920,628,276	178,186,324	121,108,654	977,705,946
小計	922,125,853	178,195,926	122,615,833	977,705,946
特定資産				
助成事業運営資産	100,803,104	134,388,121	139,454,324	95,736,901
小計	100,803,104	134,388,121	139,454,324	95,736,901
合計	1,022,928,957	312,584,047	262,070,157	1,073,442,847

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	977,705,946	(938,397,366)	(39,308,580)	—
小計	977,705,946	(938,397,366)	(39,308,580)	—
特定資産				
助成事業運営資産	95,736,901	(0)	(95,736,901)	—
小計	95,736,901	(0)	(95,736,901)	—
合計	1,073,442,847	(938,397,366)	(135,045,481)	—

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	274,480	32,023	242,457
合計	274,480	32,023	242,457

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

9. 債務保証等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
モルガンスタンレー PRD 債	100,000,000	104,560,000	4,560,000
合計	100,000,000	104,560,000	4,560,000

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし。

1 3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
該当なし

1 4. 関連当事者との取引内容  
該当なし

1 5. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし

1 6. 重要な後発事象  
該当なし

1 7. その他（金融商品の状況に関する事項）

(1) 金融商品に対する取り組み方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、有価証券等により資産運用する。

(2) 金融商品の内容及びリスク

保有する有価証券は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。その一部はデリバティブを組み込んだ債券（仕組債）であり、利息は為替を参照指標として決定される。また、米国債等の米ドル建て債券は、評価額が為替によって変動する。このため、これらの資産は市場リスク（為替変動リスク）にさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係わる管理体制

① 資産運用及び管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の「資産運用及び管理規程」に基づき行う。

② 信用リスクの管理

毎年、当法人が委嘱する資産運用委員会が資産の運用及び管理について審議を行い、発行体の信用情報や時価の状況を把握し理事長に答申し、その結果を理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。